

学校スローガン

「自分で考え 決めて チャレンジ! みんなでつくる 明日の緑小!」



緑小だより

令和7年9月5日(金)発行 NO.16

留萌市立緑丘小学校



■子どもたちの安全な学校生活(登下校)のために…

8月から9月にかけてハチが活発に活動し、危険な時期になります。本校でも、体育館裏の小屋、グラウンド付近の地面にハチの巣が見つかり、すぐに撤去したところです。子どもたちの登下校についても注意深く見守っており、情報が入ればすぐに対応できる体制が整っています。ハチの巣も含め、通学路の危険(道路の破損、違法駐車による歩道の狭さ…等)について保護者のみなさんがお気付きになったことがありましたら、学校までご一報ください。子どもたちの安全な登下校に向けて、ご協力をお願いいたします。



一年生

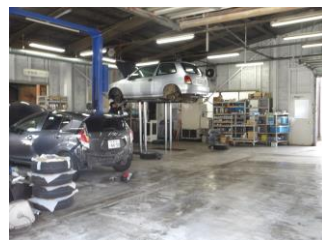
1学期から育てている「アサガオ」が、まだまだキレイな花を咲かせています。夏休み前から花が咲いている子、夏休み終了のギリギリで咲いたという子もいて、タイミングは違いますが、みんなきれいな花を咲かせることができました!

アサガオの花を、一人2つずつ押し花にしました。紙に葉の絵を描いて押し花の絵を貼ってアサガオスケッチに挑戦しました。掲示していますので、ご来校の時にぜひご覧いただければと思います。今後は、アサガオの花を使った「いろみず」に挑戦します。お家の方には、アサガオの運搬やお世話などご協力いただきありがとうございます。



二年生

生活科では「えがおのひみつたんけんたい」という学習をしています。今回は町で働く人の姿から学ぶという内容です。先週は、前回の探検から間が空いたので、働く人の姿を見付ける探検を行いました。探検しながら、のんのんとローソン、ネットトヨタにお邪魔し、働く様子を見せていただきました。たまたま卒業生の保護者の方がお勤めになっているご縁もあり、普段はなかなか見られないところを見学させていただきました。この後は、お仕事体験やインタビューなどを通して、「働く方やお客さんの笑顔の秘密」を見付けたいと思います。11月の参観日には学びの成果を発表したいと思いますので、楽しみに!



三年生

1日は社会科「店ではたらく人と仕事」の学習で、マックスバリュにお店見学に行ってきました。4つのグループに分かれてお店の中を見学し、店長さんの説明を聞きながらバックヤードも見せていただきました。普段買い物をする事の多いお店ですが、「工夫」や「ナゾ」を探すという視点で見ると、アレもコレも気になっているようでした。ちょっと緊張しながら近くの店員さんに質問している子もいました。最後は店長さんへの質問コーナーでした。用意していたたくさんの質問にテキパキと答えていただいて、メモするのに大忙し。意外な答えにみんなで驚く場面もありました。この後もいくつか施設見学が予定されています。今回の学びを生かして、さらに学びを深めていきたいと思います。



四年生

2学期が始まってすぐ、社会科の一環で「信砂浄水場見学」と「浄化センター見学」に行ってきました。午前中は増毛の信砂浄水場に行き、最近、留萌で問題になった茶色に濁った水の問題について話を聞くことができました。信砂の浄水場周辺は、自然が多い場所であり、ここできれいな飲める水がつけられている理由がよく分かりました。施設の中には貯水タンクがいくつもあり、段階を踏んで薬剤を入れ、殺菌していく様子が一目瞭然でした。一步一步施設内を進むごとに子どもたちは、驚きの声をあげ、初めて見る光景に目が輝いていました。午後に向かった浄化センターは、留萌の道の駅のすぐ隣にあり、汚水をきれいな水に変え、川に戻す施設です。ここも貯水槽がたくさんあり、段階ごとに薬剤やバクテリアを投入して、殺菌や消毒を施す様子を間近に見ることができました。子どもたちは、くらしを支える施設の一部を見学することができ、感謝することと水を大切に使用していきたいと決意することができました。



五年生

5年生の一大イベントの宿泊研修が終了。初めは緊張していた子ども、活動後は「やってよかった!楽しかった!」と笑顔で大満足の様子でした。また、子ども同士が声を掛け合い協力する姿や、部屋でワイワイと楽しそうに遊ぶ姿、レクやリーダー、式の司会や挨拶などでは、しっかりと自分の役割を果たす姿もたくさん見られ、「優しいな」「頼りになるな」「頑張っているな」と感心しました。もちろん、個々の小さな失敗もありましたが、それも思い出。原因を考え、失敗を認め、次の行動につなげることができました。どの施設の方からも、マナーや態度のよさを褒めていただき自信も付きました。布団たたみで社会の厳しさも少し味わえました(笑)。さて、今後は学芸会や後期委員会の活動が始まります。宿泊研修で得た学びや自信、仲間との楽しい経験を、どのように生かしてくれるのでしょうか。考え方や行動に変化はあるかな?とても楽しみにしています!ご協力、ありがとうございました!



六年生

先日、学級園のイモほりをしました。しかし、気候が悪かったのか、小さいイモが数個しかとれませんでした…。肥料もあげたし、夏休み中に水やりや草取りをしてくれた人もいたのに…。残念な結果になってしまいました。意外によくとれたのは、インゲンマメと大葉。持ち帰った人もいます。今後もピーマンがとれるかもしれません。持ち帰ったときはお料理よろしくお願いします!(^^)!

さて、来週は、家庭科でエプロン作り(卒業作品展で掲示します)、後期委員会決め、前期成績のまとめなどがあります。テストも多いので、自分で計画的に学習を進めてほしいと思っています。

6年生も後半戦、少しずつでも着実に成長できるようバックアップしていきます!

*夏休みの作品、力作ぞろいで素敵でした♡



とくし

4年柏組です。2学期が本格的にスタートして2週間が経ちました。夏休みモードから少しずつ学校モードに切り替えて、学習や学校生活に臨んでほしいと思います。図工では「のこぎりぎこぎこ」という学習に取り組んでいます。初めてののこぎりを使った学習なので、どんな道具なのか、どんなふうにするのか教えてもらいながら安全に留意しつつ木を切り始めました。ぎこぎこ切る手の動きも大事ですが、木をしっかり固定するのが大事です。初めはそこに苦戦しながらもコツを覚えるとスムーズにできるようになり、自分の作りたい物へと少しずつ形にしていけることができました。学習はまだ途中ですが、完成が楽しみです!!!

5年柏組です。宿泊研修に行ってきました。「時間を守り、ルールを守る、協力して課題に取り組む、集団行動をする」など柏組の二人にとってとても大切な目標でした。二人とも、それぞれの方法でしたが、予定を事前に確認したり、友達に聞きながら進めたりなど自分たちの力でしっかりと宿泊研修に参加することができました。終始、笑顔が絶えず本当に素敵な思い出になったのだと思います。宿泊研修で学んだことをこれからの学校生活で生かしてほしいと思います。



6年柏組です。毎日の家庭学習や宿題の記録ができる「キラキラチャージロード」を取り入れました。二人ともとても楽しんで活用しており、「今日の宿題はなんですか?」と積極的に学習に取り組む姿が素晴らしいです。また、今週は夏休み明け最初の「キラキラタイム」に向けて、他の学年の子どもたちも楽しめるよう、真剣にゲームを企画しました。クラブ活動や前期委員会の反省、学芸会に向けた準備など、忙しい日々が始まっています。2学期もたくさんのことを経験し、楽しく学校生活を送れるよう、しっかりとサポートしていきます。

「一回だけ」のつもりが… ゲーム課金のしくみを知ろう

ゲームの中で「課金（ゲームの中でアイテムなどを手に入れるためにお金を支払うこと）」をしたことはありますか？課金はゲームを楽しむための方法のひとつですが、知らないうちにたくさんのお金を使ってしまったり、課金をやめられなくなってしまう危険が潜んでいます。

➤ どうして課金したくなるの？

実はゲームの中には、「課金したくなるようなしくみ」がたくさんあります。

- 何が当たるかわからないランダム要素
いわゆる「ガチャ」と呼ばれるしくみは、何が当たるかわからないため、目当てのものが出るまで何度も挑戦したくなるように設計されています。
- 「今だけ限定！」キャンペーン開催
期間限定で当たるキャラクターや割引セールなどは、時間の制限によって「今すぐ買わなきゃ損しちゃう」と思わせ、買いたい気持ちを刺激するしくみになっています。
- 強くなって目指せランキング上位！
課金するとゲームを有利に進められるようになるため、「ランキングで上位に入りたい」「友達に勝ちたい」という気持ちが、課金につながるように作られています。

➤ しくみを知ることで自分をコントロール！

ゲームの中にはこのような「課金したくなるしくみ」が存在しています。自分の気持ちをコントロールできず、気づいたらゲームでたくさんのお金を使っていた…なんてことがあります。ゲームを利用するときは、「課金したくなるしくみ」をよく知って、必ずお家の人に相談をしてから利用しましょう。



「オンラインカジノ」に要注意！

最近ニュースで取り上げられている「オンラインカジノ」は、インターネット上で実際のお金や電子マネーをかけるギャンブルです。宣伝動画や広告では、まるで安全で楽しいゲームのように紹介されていますが、お金や電子マネーをかける行為は法律で禁止されています。興味本位でも絶対にサイトにアクセスしたり、利用しないようにしましょう。

◎本資料は北海道教育委員会の委託を受けてポルトゥウィン株式会社が令和7年9月に作成したものです。

「オンラインカジノ」 による賭博は犯罪です



インターネット上で実際のお金や電子マネーを賭けるオンラインカジノは犯罪です。スマートフォンやパソコンから簡単にアクセスでき、スロットやカードゲームだけでなく、スマートフォン用のパズルゲームのようなものやスポーツの勝敗を競うものなど多様な種類が提供されています。

まず知っておきたい「違法性」

日本国内においてオンラインカジノで賭博をすることは違法です。たとえ海外で合法的に運営されていても、**日本国内からアクセスしてお金を賭ける行為は「賭博罪」（刑法第185条）に該当します。**2024年には279人が摘発されており、警察庁の調査によると2024年時点でオンラインカジノの利用経験者は国内で約337万人に上ると推計されています。また、調査の中で利用経験者の約4割が「違法とは知らなかった」と回答しており、気軽に利用できるあまり、違法性が十分に認識されていないという深刻な問題となっています。

なぜ利用者が後を絶たないのか？

オンラインカジノは、見た目も操作も簡単で、初めは無料で利用でき、犯罪だと気付かない場合があり、ゲーム感覚で簡単に始めることができます。最近では、日本語対応のサイトやアプリも増えており、サイトを見ると右の画像のような、「お得」「簡単」「安心」といった印象を与える文句が並んでいます。こうした文句は利用のハードルを下げ、「一度だけなら…」という軽い気持ちで始めてしまう人が少なくありません。一度始めると、勝ったときの興奮や負けたときの悔しさが繰り返され、のめり込んでしまう構造になっています。「あと1ゲームだけ」、「負けを取り返したい」といった心理が働き、気付けば抜け出せなくなっているケースも見られます。いつでもどこでもアクセスできることから、ギャンブル依存症のリスクや、多額の金銭的な損失を被るリスクがあります。また、入出金に伴い、個人情報漏洩や、詐欺被害にあう恐れもあります。



家庭での指導

「たとえ海外のサイトでも、日本からアクセスしてお金を賭けるのは法律違反であること」、「知らなかったでは済まされないこと」を子どもに明確に伝えることが重要です。また、オンラインカジノを紹介するサイトや動画には、「安全」「儲かる」「違法性はない」といった説明が並ぶことがあります。そうした情報を鵜呑みにしてはいけなことを伝えましょう。

特に、子どもが小学生の場合、オンラインカジノをゲームの一種と誤って認識してしまうことがあります。そのため、「これはゲームのように見えるけど違法なんだよ」と難しい言葉ではなく、学齢に応じた言葉で伝えることが大切です。

また、「自分は大丈夫」と思い込まず、少しでも不安を感じたらすぐに大人に相談するよう日頃から伝えておくようにしましょう。